

第11号 華山会報

平成15年10月11日
財団法人華山会

渡辺華山と私

東京大学名誉教授

理学博士 寺山 宏



理学畑の研究、教育に携ってきた私には華山の芸術を専門的立場からコメントする力は持ち合わせないが、彼は私にとって常に魂を揺さぶる存在であった。

私が華山の詩を識つたのは二十年前の頃で、その「題「自画墨竹」」中の「有爲者必有不爲」の句は以後深く胸裡に刻まれた。幸い自宅が静嘉堂文庫に近く、そこで幾つかの彼の作品に直かに接することも出来た。そうした私が華山をもっと深く知りたいと思うようになったのは、金婚記念に鳥羽・渥美半島に小旅行を試みた際田原町博物館（現田原市博物館）に立寄り、彼の遺墨に接した時の強烈な衝撃によるものであり、東京に帰るとすぐさまその感動を次の拙詩に託した。

平成九年五月十八日、田原博物館接華山遺墨有感

幕末亨生狂瀾中、家貧男子志彌隆

臺閣諛臣謀罪獄、俯仰藩老殉精忠

こうして色々と華山に関する書き物に目を通すうち、予期もしない因縁めいた事柄に気付き驚きを禁じ得なかった。幾つかを列記すると、

①生まれた月日が同じで九月十六日

②彼の生涯を決定した少年期の立志の動機が備前侯若君の行列に触れた際供人が彼に加えた凌辱であったと云うが、私は備中生れであり多感な少年期に同じく発憤し、学問に志したものである

③華山の仕えた譜代田原侯三宅氏は

ことによると備前の児島高德の後裔ではなからうか。天日槍の裔とされる吉備族には三宅姓多く、高德の子孫にも後に三宅姓を名乗り家康に仕えた者があるという。私の祖父（養子）も三宅を姓としていた。

郷里、備中早島町は旗本戸川家筋の知行所であり、陣屋や城山もあり、封建時代の面影をささやかなりながら残っていたが、改めて華山の書いた『退役願書稿』を読むと、そこには「武士は喰はねど」と云った俚諺に象徴される虚飾をかなぐり捨てた詩人としての真実の心情が吐露されており、身震いを覚える程の感動があった。思うに華山はその内心の芸術家としての渴仰とは裏腹に表向きの儒家としての修身、齊家、治国、平天下の理想を真面目に追求・苦闘し、遂には心身共に過労に陥つたように見受けられる。もしこの退役願が受理されていたならば、その余命を純粋に文人として武陵桃源にゆだねることが出来たであろうにと思つにつけ、四十九歳の自刃による終焉は余りにも残酷であり無念である。愚生はというと憚りながら今年もまた桃の節句には秘蔵の金子金陵筆の「桃花源図」を床の間に眺めて空しく過ぎ去つた八秩の馬齢を愛しんだ次第である。

平成九年五月十八日、田原博物館接華山遺墨有感



華山会館と田原城桜門

現代に生きる渡辺華山

田原市博物館長

加藤寛一

華山は、寛政五年（一七九三）九月十六日、田原藩、三宅侯の江戸定府の武士で、父渡辺市郎兵衛定通の長子として生まれる。八歳のとき若君のお伽役として御殿に上る。十四歳のとき藩主康友公より「登」の名を賜り、殿様の側近として勤めエリートコースを進む。十三歳のとき藩の儒者で江戸筆頭家老の鷹見星臯に学び、のち佐藤一斎、松崎謙堂に朱子、陽明学を学ぶ。更に蘭学により西洋事情の研究に進む。天保二年（一八三一）四十歳で家老職となる。当時外国船の日本近海をうかがうもの多く、幕府より海防事務官を命ぜられ、領内に遠見番所を設け、村々へ外国船の旗印を配って異国船の監視にあたらせる。また、内政面では紀州の難破船の浮何掬め取りの後始末、助郷の免除、新田開発による沿岸民の不安解消、義倉「報民倉」を築き、天保七・八年の大凶作を乗り切った。苦心惨憺の結果、その成功を見ている。

画家としての華山は、白川芝山、金子全隆、谷文晁に教えを受け、南画に独特の描線と洋画のリアリズムを導入して立体感を取り入れ、多彩な名品を残す。外国への認識を高めるために蘭学研究の結社を作る。蘭学の進出は儒学派が勢力を占める、幕府為政者にとって大きな障害となった。そこで、目付の鳥居耀蔵は閣老水野忠邦を抱き込んで「蚕社の獄」にて蘭学者を弾圧した。天保十年五月無人島渡航計画の嫌疑により華山は逮捕、長英は「夢物語」夢に託して執筆した書が幕政非難したとして逮捕された。華山の疑いは晴れたけれど「慎機論」、「缺舌或問」などの論文に幕政非難の罪を受け重罪となる。この恩師謙堂先生の建白書により十二月に在所塾居となった。弟子らは恩師の生計を救おうとした。その事から藩内外の世評が喧しくなり、藩主にまで災いの及ぶを畏れた華山は「不忠不孝」と言って池ノ原屋敷にて自刃する。時に天保十二年（一八四二）十月十一日、四十九歳の生涯を閉じたのでありますが、華山先生の

遺された訓の中に「商人八訓」「八勿の訓戒」と国元の重役宛書簡のなかに為政者の心構えをといっている。

「商人八訓」

- 先づ朝は召使より早く起きよ
- 十両の客より百文の客を大切にせよ
- 買手が気に入らなり返しに来たらば売る時より丁寧なせよ
- 繁昌するに従って益々儉約をせよ
- 小遣は一文よりしるせ
- 開店の時を忘るな
- 同商売が近所に出来たら慈意を厚くして互いに励めよ
- 出店を開いたら三ヶ月は食糧を送れ

「八勿の訓戒」

- 面話の情に常を忘るる勿れ
- 眼前の操廻しに百年の計を忘るる勿れ
- 前面の功を期して後面の費を忘るる勿れ
- 大切は緩にあり機会は急にありといふ事を忘るる勿れ
- 面は冷なるを欲し背は暖を欲すると云うを忘るる勿れ
- 挙動を慎み其恒を見らるる勿れ
- 人を欺かんとする者は人に欺むかる不欺は即不欺己といふ事を忘るる勿れ
- 基立て物従ふ基は心の実といふ事を忘るる勿れ

「国元重役宛書簡より」（天保九年一八三八）田原御三人様宛書簡

田原は武を構し、徳を敷き
天地の間に獨立致筆大の地を
百世に存候様御工夫第一也
何でも徳に無之ては危し

「商人八訓」には商人に対する心構え、「八勿の訓戒」には人に接する心構え、人生訓が述べられています。国元重役宛書簡には為政者の心構えを、又、華山先生は教育の根源は「仁、義、礼にある」と言っています。華山先生の教えは今も生き続けている。

目次

題字「華山会報」華山会理事	小澤耕一
渡辺華山と私	寺山 宏
田原市博物館長	目次
画家渡辺華山の心象	『芝仙祝寿図』
財団法人華山会寄付行為	田原市博物館所蔵品から
田原市博物館所蔵品から	『再雅像』（孔門十哲像の内）
渡辺華山の	『自律狂歌草稿』鑑賞③
華山会報索引	田原・大草小学校で
田原市博物館	聞きました
「華山を知っていますか？」	田原市博物館
販売物のご案内	財団法人華山会
田原市博物館	からのご案内

画家渡辺華山の心象

芝仙祝寿図

天保四年（一八三三） 絹本着色

縦一一・六cm 横三二・九cm

田原市博物館蔵

余曾觀南田惲氏所作水儷小幀。氣韻深厚、尚往來于胸間。今春以官事客於田原、舍外此花盛開、忽發佳興、終仿其意添以芝竹。然塵事鞅掌、久負筆研、手腕生棘、不能擬其萬一也。癸巳二月朔十日。時膏雨初霽。桃杏放靄。 華山外史登

「芝仙祝寿」とは靈芝に竹を配して祝寿の意とした画です。麗芝はマンネンタケ（万年茸）の漢名で、瑞草とされます。竹は梅・菊・蘭とならび、その高潔な美しさを君子にたとえて言われる四君子のうちのひとつです。

この年、四十一歳の華山は、田原藩主三宅家系譜及び友信の三河志の御用にて一月二十九日から田原へ逗留していました。二月には、渥美半島にある田原藩領の赤羽根・越戸・

和地・水川・谷ノ口・吉胡・浦の各村を廻っています。三月には田原領内の猪狩に参加している自らの姿を紀行日記である『客参録』（愛知県指定文化財・個人蔵）にスケッチしています。

画面右の詩によれば、「かつて惲南田（一六三三丁九〇）の水仙図を観て、その気韻が深厚であることに感銘し、いまさらながら心の中に感じるものがあつた。たまたま、宿の

前庭に水仙がたくさん咲いているのを見て、よい趣をたちまち感じ取り、よつて南田の気持ちをまねた」と書いています。

また、『客参録』三月九日の項に「水仙芝竹図竣功。自曾觀惲南田所作水仙小幀、氣韻深厚。今春以官事客於田原、舍外此花盛開。因発興倣其意添以芝竹。然塵事鞅掌久廢筆硯、手生荆棘、不能得擬其万一也。癸巳二月朔十日、時膏雨初霽桃杏放靄。」とあり、款記には「癸巳二月朔十日」と書かれ、天保四年の二月十日に描かれたと書いていますが、実際に完成したのは、三月九日であつたことがわかります。印に白文長方印の

「華山」と朱文小瓢印の「登」を使用しています。

水仙の花は写生に基づき描かれたと思われ、花のひとつひとつには、忠実に陰影を施しています。直線的に立ち上がった竹と瑞々しい水仙が的確に描写され、その緑と水仙の花の白のコントラストが鮮麗な色彩となり、清新さを感じさせます。そこには、惲南田を超越して華山独自の花鳥画の世界が開けていきます。

この作品は、田原市博物館蔵名品選に出品されます。

田原市博物館学芸員

鈴木利昌



財団法人華山会寄付行為

第一章 総則

(名称)

第一条 この法人は、財団法人華山会という。

(事務所)

第二条 この法人は、事務所を愛知県田原市田原町巴江二番地一に置く。

第二章 目的及び事業

(目的)

第三条 この法人は、渡辺華山の封建的幕藩社会における武士、儒者、蘭学者、画家としての活躍を顕彰し、その生涯における作品その他資料を調査、研究するとともに、これらの作品を収集管理して一般に公開することにより本県の文化意識の高揚を図り、もって社会教育の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 渡辺華山に関する調査研究
- (2) 渡辺華山に関する講習会及び講演会等の開催
- (3) 渡辺華山に関する刊行物の発行
- (4) 田原市から委託を受けた博物館、民俗資料館及び諸施設の管理運営
- (5) 渡辺華山に関する作品その他関係資料の展示及び保存
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

第三章 資産及び会計

(資産)

第五条 この法人の資産は、次のとおりとする。

- (1) 設立当初財産目録に記載された財産
- (2) 資産から生ずる収入
- (3) 事業に伴う収入
- (4) 寄付金
- (5) 補助金
- (6) その他の収入

(資産の種類)

第六条 この法人の資産を分けて、基本財産及び運用財産の二種とする。

一 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
- (2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産
- (3) 理事会で、基本財産に繰入れることを議決した財産

二 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(資産の管理)

第七条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方は理事会の議決により定める。

二 この法人の基本財産のうち現金は、理事会の議決に基づいて確実な有価証券を購入するか、定期郵便貯金とするか、確実な信託銀行に信託するか又は定期預金として理事長が保管する。

(基本財産の処分の制限)

第八条 基本財産は、処分し、又は担保に供してはならない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事現在数の三分の二以上の議決を経、かつ、愛知県教育委員会の承認

を受けて、その一部に限り処分し、又は担保に供することができる。

(経費の支弁)

第九条 この法人の事業遂行に要する費用は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画及び収支予算)

第一〇条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎会計年度開始前に理事長が編成し、理事会の議決を経て、愛知県教育委員会に届出なければならぬ。

二 事業計画及び収支予算を変更しようとする場合も、前項と同様とする。

(事業報告、収支決算及び剰余金の処分)

第一一条 この法人の収支決算は、理事長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書及び財産増減理由書とともに、監事の意見を付け、理事会の承認を受けて、毎会計年度終了後三月以内に愛知県教育委員会に報告しなければならない。

二 この法人の収支決算に剰余金があるときは、理事会の議決を経て、その一部若しくは全部を基本財産に編入し、又は翌年度に繰越すものとする。

(借入金)

第二二条 借入金(その会計年度内の収入をもって償還する一時借入金を除く。)をしようとするときは、理事会において理事現在数の三分の二以上の議決を経、かつ、愛知県教育委員会の承認を受けなければならない。

(会計年度)

第二三条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第四章 役員、評議員及び職員

(役員の数)

第二四條 この法人には、次の役員を置く。

- 理事 五名以上七名以内（うち、理事長一名、常務理事一名）
- 監事 一名

(役員を選任)

第二五條 理事及び監事は、評議員会で選任し、理事は、互選で理事長一名及び常務理事一名を定める。

二 理事の選任に当たっては、理事のいずれか一人とその親族その他特別の関係のある者の合計数が理事現在数の三分の一を超えてはならない。

三 監事には、この法人の理事（その親族その他特別の関係のある者を含む。）又は職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特別の関係があつてはならない。

四 理事、監事及び評議員は、相互に兼ねることができない。

(理事長の職務及び職務代行者)

第一六條 理事長は、この法人の業務を総理し、この法人を代表する。

二 理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した常務理事がその職務を代理し、又はその職務を行う。

三 常務理事は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。

(理事の職務)

第一七條 理事は、理事会を組織して、この法人の業務を議決し、執行する。

(監事の職務)

第一八條 監事は、この法人の業務及び財産に関し、

次の業務を行う。

- (1) 法人の財産の状況を監査すること。
- (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (3) 財産の状況又は業務の執行について不正の事実を発見したときは、これを理事会、評議員会又は愛知県教育委員会に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会又は評議員会を招集すること。

(役員任期及び解任)

第一九條 この法人の役員任期は、二年とし、再任を妨げない。

二 補欠又は増員による役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

三 役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

四 役員がこの法人の役員としてふさわしくない行為があつたとき、又は心身の故障のため職務の執行に耐えないと認められるときは、その任期中であつても理事会及び評議員会において、理事及び評議員の現在数のそれぞれ四分の三以上の議決によりこれを解任することができる。

(役員報酬)

第二〇條 役員は無給とする。ただし、常勤の役員は有給とすることができる。

(評議員の定数、選任、任期及び解任)

第二一條 この法人には、評議員九名以上一五名以内を置く。

- 二 評議員は、理事会で選出し、理事長が任命する。
- 三 評議員の選任に当たっては、役員の内いずれか一人とその親族その他特別の関係のある者の数又は評議員の内いずれか一人とその親族その他特別の関係のある者の合計数が評議員現在数の三分の一を超えてはならない。

の合計数が評議員現在数の三分の一を超えてはならない。

四 第一九條の規定は、評議員に準用する。この場合において「役員」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

(評議員の職務)

第二二條 評議員は、評議員会を組織して、この寄付行為に定める事項のほか、理事会の諮問に応じ、理事長に対し必要と認める事項について助言する。

(委員会及び委員)

第二三條 この法人は、理事会の議決を経て専門事項を調査、審査するため委員会を置くことができる。

二 委員会の委員は、理事長が理事会の同意を得て委嘱する。

三 委員会及び委員に関する必要事項は、理事長が定める。

(職員)

第二四條 この法人の業務を処理するため職員を置く。

二 職員は、理事長が任免する。

三 職員は、有給とする。

第五章 会議

(理事会の招集)

第二五條 理事会は、毎年二回理事長が招集する。ただし、理事長が必要と認めるとき、又は理事現在数の三分の一以上から会議の目的たる事項を示して請求のあつたときは臨時理事会を招集しなければならない。

二 理事会を招集するには、各理事に対し、会議の目的たる日時及び場所を示して、会議の五日前までに到着するように、文書をもって通知しなければならない。

三 理事会の議長は、理事長とする。

(理事会の定足数)

- 第二六条 理事会は理事現在数の三分の二以上出席しなければ、議事を開き議決することができない。
- 二 理事会の議事は、この寄付行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 三 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、当該議事についてあらかじめ書面をもって表決することができる。この場合において、前二項の規定の適用については、出席したものとみなす。

(諮問事項)

- 第二七条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。
- (1) 事業計画及び収支予算についての事項
 - (2) 事業報告及び収支決算についての事項
 - (3) 不動産の買入れ又は基本財産の一部処分若しくは担保提供についての事項
 - (4) その他この法人の業務に関する重要事項で理事長が必要と認めた事項
- 二 前二条の規定は、評議員会に準用する。この場合において、「理事会」とあるのは、「評議員会」と、「理事」とあるのは、「評議員」と、それぞれ読み替えるものとする。

(議事録)

- 第二八条 理事会の議事において、議長は次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 開会の日時及び場所
 - (2) 理事の現在数
 - (3) 会議に出席した理事の氏名
 - (4) 書面表決をした理事の氏名

(5) 議決事項

- (6) 議事の経過要旨及び発言者の発言要旨
- 二 議事録には、議長及び出席理事のなかからその会議において選出された議事録署名人二名以上が署名しなければならない。
- 三 前二項の規定は評議員会に準用する。この場合において、「理事会」とあるのは、「評議員会」と、「理事」とあるのは、「評議員」とそれぞれ読み替えるものとする。

第六章 寄付行為の変更及び解散

(寄付行為の変更)

- 第二九条 この寄付行為は、理事会及び評議員会において理事及び評議員の現在数のそれぞれ三分の二以上の同意を経、かつ、愛知県教育委員会の認可を受けなければ変更することができない。

(解散)

- 第三〇条 この法人の解散は、理事会及び評議員会において理事及び評議員の現在数のそれぞれ四分の三以上の同意を経、かつ、愛知県教育委員会の許可を受けなければならない。

(残余財産の処分)

- 第三一条 この法人の解散に伴う残余財産は、理事会及び評議員会において理事及び評議員の現在数のそれぞれ四分の三以上の同意を経、かつ、愛知県教育委員会の許可を受けて、国若しくは地方公共団体又はこの法人と類似の目的を有する公益法人に寄付するものとする。

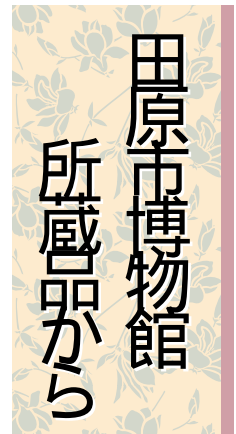
第七章 補則

(書類及び帳簿の備付等)

- 第三二条 この法人の事務所に次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし他の法令により、これに代わる書類及び帳簿を備えたときは、この限りでない。
- (1) 寄付行為
 - (2) 許可、認可等に関する書類
 - (3) 役員、評議員及びその他の職員の名簿及び履歴書
 - (4) 財産目録
 - (5) 資産台帳及び負債台帳
 - (6) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類
 - (7) 理事会及び評議員会の議事に関する書類
 - (8) 処務日誌
 - (9) 官公署往復書類
 - (10) その他必要な書類及び帳簿

(細則)

- 第三三条 この寄付行為施行についての細則は、理事会の議決を経て別に定める。
- 付則
- 一 この法人の寄付行為は、愛知県教育委員会の設立許可の日(昭和六十三年四月一日)から施行する。



重要文化財 椿椿山筆 冉雍像

(孔門十哲像の内) 筒井正憲賛

嘉永元年(一八四八)

絹本着色

縦一〇二・九cm 横三六・九cm

賛の意味は次のとおりです。
才智德行にすぐれた仲弓には、気が合う人がいなく、父の犠牲となつて育つた。つつしみと思ひやりを守り、いつくしみを求め、それを作法

賢無氣類犁牛育駢 賢氣類無し犁牛駢にて育つ
奉敬恕教希仁禮成 敬恕の教を奉じ仁を希み禮成る
簡嚙重厚不躁不輕 簡嚙重厚ならず軽ならず
許南面度然大簡評 南面の度を許され然して大簡の評あり
聖門哲弟以德行名 聖門哲弟德行を以つて名あり
後学筒井憲謹肅拜題 戊申冬十月椿椿敬寫



としていた。つつましく静かで重厚であつた。人君としての法制をとることを許され、しばらくして、大變つつましいと評判になつた。仲弓は徳のある行いで名を成した。

冉雍は姓を冉、名を雍、字を仲弓といます。孔門の十哲の一人です。魯の国の人で、孔子より二十九歳若く、魯の大夫、李氏の宰(長官)を勤めました。父の身分が賤しかったけれども、孔子は本人次第といつて励まし、また「君主にしてもよい人物だ」と褒めています。
画を描いた椿椿山は享和元年(一

八〇一)、江戸で生まれました。幕府の檜組同心として勤務するかたわら、華山と同様に絵を金子金陵に学び、金陵の死後、谷文晁にも学びましたが、後に華山を慕い、師事するようになります。花鳥画を得意としていましたが、肖像画も描いています。おだやかな作風で、温和な椿山の人柄があらわれています。椿山の画風と冉雍の人柄がびつたりと合う作品ではないでしょうか。

賛の筒井憲は筒井正憲ともいい、幕臣で文政四年(一八二二)から二十年余り江戸南町奉行をつとめました。嘉永七年(一八五四)大目付格

海防掛となり、ロシア使節プチャーチンと下田で交渉して日露和親条約の締結につくしています。華山とは正憲の次男、下曾根金三郎が蘭字研究グループである尚歯会に加わっていたという関係があります。

この作品は、昭和三十年二月二日に重要文化財に指定された渡辺華山関係資料の附として、同三十二年一月九日に追加指定され、昭和五十三年三月二十四日に歴史資料に指定替えられました。
田原市博物館学芸員 磯部奈三子

渡辺華山の 自律狂歌草稿鑑賞(3)

五、見渡せ八

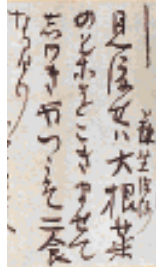
(狂歌)

蘇生法師

見渡せ八大根菜
の葉をこきませて
志ワきやつこそ二食
なりけり

(狂歌の意)

はるかに見たすと、大根や菜の花を「こちやこちや」に混ぜ合わせて、けちな奴こそ二食だったんだなあ。(鑑賞)



狂歌の「志ワきやつ」とはけちな奴のこと。「二食」は「二ジキ」と読み、錦のもじりである。「なりけり」は上にのどろと「こきませ」の「こ」が「こ」であるので、文法的には已然形の「けれ」と結ばねばならないところであるが、江戸時代にはこのように係

り結びの法則によらないものが増えてくるようになった。この場合も、それである。本歌である素性法師の歌は、柳とともに咲き競う桜の花を春の錦と見立てて都の春の華やかさを称えた歌であるが、華山はこれをくつと庶民的なけちな人の食事の場面に見立てて、「けちな奴こそ二食だったんだなあ。」とやや無理矢理に取って付けたように纏めた感がある。しかし、本歌の「錦」を「二食(二ジキ)」としたこと

(本歌)

素性法師

見渡せば柳桜をこきませて
都ぞ春の錦なりける

(歌意)

遠くはるかに都の方を眺め渡すと、柳の緑と桜の花の色をあちこちに混ぜ合わせて、この都こそが春の錦だったのだなあ。

古今集・卷一・春上・五六

るなどはやはり面白い。
作者の素性法師を蘇生法師としたところなども華山のパロディ能力もなかなかのものと言えそうである。

六、遠近の

(狂歌)

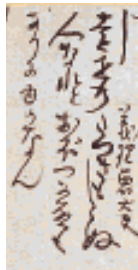
義理悪大夫

遠近のたつきもしらぬ
人なれとおぼつかなくも
かりにゆかなん

(狂歌の意)

遠い近いの手がかりもわからない人であるけれども、心許ないことだが、とにかく金を借りに行ってもらいたい。

(鑑賞)



狂歌の表現の「たつき」はてがかり、方法、手段の意。「おぼつかなく」は「はつきりしない」とか、よく分からないの意。「ゆかなん」は「行く」の未然形に他に対してあつらえ望む意の終助詞「なむ」がついた形であるので、意味は「行ってほしい」とか「行ってもらいたい」の意味になる。

この狂歌の場合も、本歌の表現の上の句の五七と下の句の七とを本歌取りして、不案内な山中で心細げに鳴く喚子鳥の様子を詠んだ歌の世界を、くつと現実の世界、日常の俗っぽい世界のものにして、金を借りに行く人の心許ない心理を詠んだ狂歌に仕立てている。華山としても、生涯大金とはおおよそ縁のない生活に終始していた訳だから、こつした金に苦勞する人の心は少なからず共感できるものがあつたことであろう。

(本歌)

よみ人知らず

をちこちのたつきもしらぬ山中に
おぼつかなくも喚ぶ子鳥かな
古今集・卷一・春上・二九

(歌意)

あつちへ行けばどこ、こつちへ行けばどこという、案内も分からない山の中で心もとなくも鳴く喚子鳥だなあ。

七、いっそ金

(狂歌)

中納言朝忠

いっそ金をかしてくれ

ねはなかなか人に

をも身をもつらまし

さらまし

(狂歌の意)

いっそ金などかしてくれねば、かえって

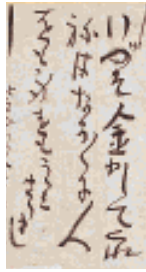
(今の私のように) 相手や自分を恨んだり

しないだろつ。(あいに) 金など借

りたばかりに、こんなに苦しまねばなら

ないのだ。(

(鑑賞)



本歌の百人一首の歌は、求愛に応えようとしない女のた
め、悶々と苦しむ男の気持ちが詠われている。苦しく切な
い恋。愛さずにはおれない男。「あふことのたえてしなく
ば」とまず考え込む男の激しさが詠まれている。狂歌は

その恋心を借金に苦しむ人の気持ちに置き換えたもので、戯画化の手法としては比
較的単純であるが、僅かに上の句の五七を取り替えるだけで、このようにみごとに
庶民の心を代弁するよつな狂歌に生まれ変わる事ができるところが面白い。

恋心と同様、金にまつわる浮き世の苦しみも古今東西人の世のある限り人間につ
いて廻る業のようなものかもしれない。華山は、この他にも幾つか金にまつわる狂
歌をものしているが、我が身にとってもそれだけ生活上切実な問題でもあったので
あろつ。

(本歌)

あふことのたえてしなくばなかなか

人をも身をも恨みざらまし

百人一首・四四

(歌意)

もしもこの世に逢つたということが、全く

ないのならば、かえって(今の私よ

うに) 相手や自分を恨んだりしないだ

ろつ。(あいに) 世には逢つたとい

うことがあつて、恨みは戻さない。(

八、行やらて

(狂歌)

皆本乃金高朝臣

行やらて畑にくらしつ

くそ柄杓今

ひと培養の

きかまほしさに

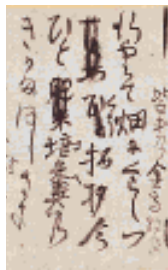
(狂歌の意)

行くことが出来なくて畑でくらしし

まった。くそ柄杓の、このせめて今ひ

と培養が効いてほしいため。

(鑑賞)



化学肥料の無かった江戸時代、有機肥料の代表である培
糞は農家にとっては欠かすことのできない重要な肥料源で
あった。どこの農家でも、この培養溜め用の池や穴を作っ
てそこに貯蔵していたものである。化学肥料の出でくる昭

和の中頃までは、どこの農家もほとんどがこの培養や家庭から出る残飯などを重要
な肥料源としていたのである。今でも化学肥料を嫌って、それを守っている有機栽
培の農家もある。この狂歌は、本歌の「今ひとこゑを」の「こゑ」から「培養」を
連想して、一首に仕立てたものであるが、華山の書いた草稿にはあちこちと推敲の
跡が見られ、一首に仕立て上げるのに、とりわけ苦労したよつである。

「行やらて」の「て」は「で」と濁って読み、打ち消しの接続助詞である。また、
「つ」は完了の助動詞の終止形で、「してしまった」の意味である。本歌のホトトギ
スを聞くために山路で日を暮らす都人の風流を、畑で一日培養汲みに格闘する農家
の人の姿としてぐっと現実的にすることで、諧謔味を持たせたところに面白味があ
るといふべきが。

(本歌)

行やらて山路にくらしつほととぎす

今ひとこゑを聞きまほしさに

拾遺集・巻一・夏一六

(歌意)

行くことが出来なくて山路に日を暮らし

てしまったことだ。あのほととぎすのも

う一声が聞きたくて。

九、にくまれて

(狂歌)

大馬鹿富年寄

にくまれて娑婆
ふさげなる虚ツぱち
つくともつきし君
がよはひ八

(狂歌の意)

にくまれて無益に生きながらえての嘘をつく。いつまでも尽きることはないだろう、おまえの年は。

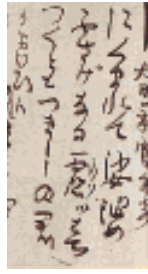
(本歌)

大中臣頼基

ひとふしに千代をこめたる杖なれば
つくともつきし君がよはひは
拾遺集・巻五・賀・

(歌意)

一節に千年を閉じこめた杖であるので、幾節もあるその杖でついても、あなたの年齢はいつまでも尽きることがなく、長生き出来るでしょう。



(鑑賞)

嫌われ者が世にははかるのはどうも昔も今も変わりがないようだ。狂歌の中にある「娑婆ふさげ」というのは、あまり聞き慣れない言葉だが、無益に生きながらえて世の邪魔になること、又はその人のこと。死に損ないとか、くつぶしというように人をののしって言う時に使う言葉である。

ここでは、長寿を祝う歌である本歌の主題を、長寿ゆえに人に嫌われる「娑婆ふさげ」に対する愚痴の歌として、華山の手柄がある。本歌と逆の人間の一面を狂歌にパロディ化して示すことで、かえって人間の醜さや哀しさを浮き彫りにしているところが面白いのである。

十、大晦日

(狂歌)

(本歌)

切し鞋の年雪

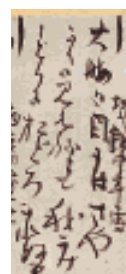
藤原敏行

大晦日目にはさや
かに見えねとも我かけ
とりにおどろかれぬる

(狂歌の意)

大晦日目にははつきりとは見えないけれど、私は借金取りにああ大晦日だと気付かされることだ。

(鑑賞)



化したところに面白さがある。

(歌意)

秋が来たとも目にははつきりとは見えないけれど、耳に聞く風の音には、ああ秋が来たとはと気がつかされることだ。

江戸時代は、今と違って、六月と十二月の節季が年二回の決算期と決まっていた。どこの店もこの「かけとり」が各家に溜まった貸し金の集金に忙しく駆け回ったものであった。金のない者がその「かけとり」をうまくかわせば、又次の節季まで借りつなぐことができる。あれこれと方法を案じて切り抜けようとした様子などは、井原西鶴の「世間胸算用」などにも描かれているところである。華山の狂歌はそうした庶民の大晦日のやりくりの姿に目を向けて、狂歌に仕立てているのである。「おどろかれぬる」の「おどろく」は気がつくこと。「れ」は自発の助動詞。「る」の連用形で、自然にはつと気付かされるの意味である。

作者名の「切し鞋」は本歌の作者名の藤原の「わら」の音からの連想であり、「年雪」も本歌の作者名の「敏行」からの連想で、切れた鞋をはいて冷たい雪の中を行く人を連想させるものがあり、面白い。

研究会員 山田哲夫

華山会報索引

本索引は創刊号より第十号に掲載された内容を収録しました。

巻頭言

創刊号	華山会報の発刊にあたって	一頁
	：理事長白井孝市	
第二号	渡辺華山の桃源郷：芳賀 徹	一頁
第三号	杞憂を以て死した華山先生：上野憲示	一頁
第四号	華山から華山へ：河野元昭	一頁
第五号	渡辺華山 芸術的、政治的な英雄 ：ジョージタウン大学助教授	一頁
	：ジーン・イポリト	
第六号	私の華山研究：日比野秀男	一頁
第七号	明治時代活字になった華山読みもの ：理事小澤耕一	一頁
第八号	田原から日本を変えよう 渡辺華山の今 日的意義：童門冬二	一頁
第九号	華山先生を語る：河合秀敏	一頁
第十号	華山と写楽：瀬木慎一	一頁

地元の声

創刊号	華山会の設立経過について	二頁
第二号	東銘・西銘：教育長 鈴木啓之	二頁
第三号	寺子屋：町商工会長 鈴木喜玄	二頁
第四号	華山三部作 ：田原中部小学校長 瓜生堅吉	二頁
第六号	「華山サミット」開催を ：町議会議長 川口完一	二頁
第七号	「のぼり学習」と華山先生 ：田原中部小学校長 藤城精一	二頁
第八号	六年社会科学習「渡辺華山」 ：若戸小学校長 山田政俊	二頁
第九号	「華山劇の思い出」 ：県議会議員 鈴木 愿	二頁
第十号	第九番合唱と『四州真景』のスケッチ ：華山・史学研究會会長 渡辺巨祥	二頁

画家渡辺華山の心象

創刊号	黄梁一炊図：鈴木利昌	三頁
第二号	鷹見泉石像：鈴木利昌	三頁
第三号	遊魚図：鈴木利昌	三頁

特集記事

創刊号	渡辺華山略伝：理事 加藤寛一	四頁
創刊号	華山・史学研究會十年のあゆみ：林哲志	一四頁
第四号	渡邊家の家紋と家系：理事 加藤寛一	四頁
第六号	華山と桐生：桐生華山會會員 岡義明	八頁
第十号	博物館十年のあゆみ：鈴木利昌	一一頁

第四号	于公高門図：鈴木利昌	二頁
第五号	四州真景図：鈴木利昌	二頁
第六号	佐藤一斎像：鈴木利昌	二頁
第七号	溪澗野雉図：鈴木利昌	二頁
第八号	一路功名図：鈴木利昌	二頁
第九号	客坐掌記：鈴木利昌	二頁
第十号	鸕鷀捉魚図：鈴木利昌	二頁

第二号	牡丹図：鈴木利昌	七頁
第三号	渡辺華山像：鈴木利昌	七頁
第四号	渡辺巴洲像画稿：鈴木利昌	七頁
第五号	孔子像：鈴木利昌	七頁

博物館所蔵品から

華山史跡紹介

第六号 孔門十哲像・顔回像：鈴木利昌 七頁
 第八号 一掃百態図：鈴木利昌 七頁
 第九号 孔門十哲像・閔損像：鈴木利昌 七頁
 第十号 孔門十哲像・冉耕像：鈴木利昌 七頁

資料紹介

創刊号 池ノ原公園：小川金一・増山禎之 八頁
 創刊号 松蘿園：林哲志 九頁
 第二号 城宝寺(一) 八頁
 第二号 中神昌秀・増山禎之 八頁
 第二号 三宅坂：林哲志 九頁
 第三号 城宝寺(二) 八頁
 第三号 中神昌秀・増山禎之 八頁
 第三号 厚木六勝：柴田雅芳 九頁
 第四号 華山が見た田原(その一) 八頁
 第四号 小川金一・増山禎之 八頁
 第四号 小園村：柴田雅芳 九頁
 第五号 華山が見た田原(その二) 八頁
 第五号 小川金一・増山禎之 八頁
 第五号 龍泉寺：渡辺亘祥 九頁

創刊号 参海雜誌(前編)：渡辺亘祥 一〇頁
 第二号 華山先生略伝補(一)：山田哲夫 四頁
 第二号 参海雜誌(後編)：渡辺亘祥 一〇頁
 第三号 華山先生略伝補(二)：山田哲夫 四頁
 第三号 游相日記(一)：加藤克己 一〇頁
 第四号 華山先生略伝補(三)：山田哲夫 四頁
 第四号 游相日記(二)：加藤克己 一〇頁
 第五号 退役願書之稿(一)：柴田雅芳 四頁
 第五号 游相日記(三)：加藤克己 一〇頁
 第六号 退役願書之稿(二)：柴田雅芳 四頁
 第六号 游相日記(四)：加藤克己 一〇頁
 第七号 退役願書之稿(三)：柴田雅芳 四頁
 第七号 華山の書「守字解」：渡辺亘祥 八頁
 第七号 游相日記(五)：加藤克己 一〇頁
 第八号 退役願書之稿(四)：柴田雅芳 四頁
 第八号 華山の書「耐煩」：渡辺亘祥 八頁
 第八号 游相日記(六)：加藤克己 一〇頁
 第九号 退役願書之稿(五)：柴田雅芳 四頁
 第九号 華山の書「自筆獄中書簡」：林哲志 八頁
 第九号 「自律狂歌草稿」鑑賞(一)：山田哲夫 一一頁

各地の博物館・美術館をたずねて

第十号 「自律狂歌草稿」鑑賞(二)：山田哲夫 八頁
 第十号 華山先生幽居中の書簡：理事 小澤耕一 一四頁

創刊号 高野長英記念館：鈴木利昌 一四頁
 第一号 鷹見泉石記念館・古河歴史博物館 一四頁
 第二号 鈴木利昌 一四頁
 第三号 静嘉堂文庫美術館：鈴木利昌 一四頁
 第五号 東京国立博物館：鈴木利昌 一四頁
 第七号 山形美術館：鈴木利昌 一四頁
 第八号 出光美術館：鈴木利昌 一四頁
 第九号 葛生町立吉澤記念美術館：鈴木利昌 一四頁

創刊号 華山先生「訪謁録」の古里を訪ねて 一五頁
 第一号 華山史学研究雑誌：尾川新一 一五頁
 第二号 華山の実像にふれて：仲井千恵 一五頁
 第四号 華山・まなびの原点：小川金一 一五頁

会員から

学校にて

- 第五号 華山史学研究会会員の一人言：中神昌秀 一五頁
- 第七号 研修旅行「高野長英記念館」：山田哲夫 七頁
- 第七号 華山と私：増山禎之 一五頁
- 創刊号 私と華山：田原中部小学校 清水貞貴 一五頁
- 第二号 華山先生のやさしさ 一五頁
 - ：衣笠小学校 河合淳一
- 第三号 華山先生の生き方 一五頁
 - ：童浦小学校 三浦裕子
- 第四号 華山先生について 一五頁
 - ：田原中部小学校 齋竹興祐
- 第五号 渡辺華山先生について 一五頁
 - ：田原東部小学校 鈴木竜也
- 第六号 華山劇から学んだこと 一〇頁
 - ：田原中部小学校 光部正浩
- 第七号 田原の有名人渡辺華山先生 一五頁
 - ：野田小学校 林奈津美
- 第八号 神戸小学校で聞きました華山を知ってま
すか？ 一五頁

博物館からのお知らせ

- 第九号 田原南部小学校で聞きました華山を知
てますか？ 一五頁
 - 第十号 六連小学校で聞きました華山を知ってま
すか？ 一四頁
 - 創刊号 博物館から展示・行事案内 一六頁
 - 第二号 博物館からご案内 一六頁
 - 第三号 博物館からご案内 一六頁
 - 第四号 博物館からご案内 一六頁
 - 第五号 博物館からご案内 一六頁
 - 第六号 博物館からご案内 一六頁
 - 第七号 博物館からご案内 一六頁
 - 第八号 博物館からご案内 一六頁
 - 第九号 財団法人華山会・博物館からのお知らせ 一六頁
 - 第十号 特別展 出光美術館所蔵
「文人画名品展」のご案内 一五頁
 - 第十号 財団法人華山会・博物館からのお知らせ 一六頁
- 華山会報は四月と十月に発行されます。
華山会報のバックナンバーをご希望の方は、華
山会館、田原市博物館にお申し出ください。



華山会館と田原城桜門

大草小学校で
聞きました

華山を知 てますか？

1 とき 平成十五年九月十二日(金) 授業後
2 参加してくれた人

大場章乃さん(6年)、中浜聡史君
(6年)、江川友昭君(6年)、鈴木
美奈子先生(6年担任)

みなさん六年生だから、「渡辺
華山」を知っていますよね。

児 あんまりよくは知らないんだ
けど、電話帳の表紙にのっています。

児 渡辺華山という名前は、何と
なく知っています。

児 名前を聞いたことあるけど、
くわしくは知りません。中部小学
校で劇をやっているそうです。

そう、華山劇のことですね。観
たことがありますか。

児 ありません。博物館へ行った
時、ビデオで観ました。

華山という人を、どんな人であ
ったと把握していますか。

児 絵がうまい人です。

児 ぼくも絵のうまい人だとい

ことを知っています。博物館のビデ
オで観ました。

児 ぼくも、絵が上手だったと聞
いたことがあります。

みなさん、画家としての華山の
有名なことは知ってるんだね。そ
の他の面ではどうですか？

児 死ぬ前に、自分の墓を作った。
華山の遺書のことかな？

児 どこかの公園で自殺をしたと
か聞きました。

池ノ原公園に行ったことがあり
ますか。

児(みんな行ったことはありません
学校の図書館に、渡辺華山のこ
とを書いた本はありませんか。

児 見たことはありません。

先生どうですか。

教 無いんじゃないかと思えます。
『少年物語渡辺華山』という小
冊子が、どこの学校にも、複数配

られていると思えますが…。

教 そうですか。一度、よく探し
てみます。

小澤耕一先生が子ども向きに書
かれたものです。あれは、子ども
たちの学習資料として最適だと思
いますよ。

社会科の歴史の勉強は、今どの
時代まで進んでいるのかな？

児 三人の武将が出てきたところ
です。

児 豊臣秀吉や徳川家康…。

そうですね。面白いところでは
ね。世の中が激しく移り変わって
いく時代ですね。力があれば、ど
んどん出世していった時代ですよ
ね。華山は、もう少し後、徳川幕
府の終わり頃に出てくるんです。
もう少し勉強が進むと、華山が歴
史の舞台に登場してきます。

ところで、社会科の教科書に
「渡辺華山」の名前が出てきますか。

教 今は、出てきません。

教科書に出てこないなら、なお
のこと『少年物語渡辺華山』など

を使って勉強してください。

大草地区で、郷土の偉人とか、
学習でとり上げるべき人物がいま
すか。

児 一色七郎がいます。戸田宗光
も知っています。

教 人物と限定するとむずかしい
んですが、今、総合学習で、テー
マを決めて調べる学習に取り組ん
でいます。

児 私たちは、惣作古窯を調べて
ます。

教 最初は、あのお皿が三枚重な
ったような「文化財」のマークに
興味と疑問を持ってスタートした
んです。

児 ぼくたちは、「糖塚長者」の話
を調べています。

最後は、それをまとめるんだね
いいねえ。

教 できれば、冊子にしたいと思
っています。

でき上がったら、私にも読ませ
てください。楽しみにしています
よ。

(聞き手・文責 林和彦)

田原市博物館
販売物のご案内

渡辺華山・博物館の展示に関する刊行物を紹介します。いずれも消費税込の価格です。送付（送料実費）もいたします。

展示図録等

- 開館記念特別展「渡辺華山とその師友展」(一九九三) 一部 一、五〇〇円
- 秋の企画展「椿椿山展」(一九九四) 一部 二、〇〇〇円
- 秋の企画展「日本の夜明け展 華山とその同志」(一九九五) 一部 二、〇〇〇円
- 秋の企画展「相撲錦絵展 浮世絵に見る江戸の風俗」(一九九六) 一部 一、〇〇〇円
- 春の企画展「北斎漫画展 画狂人が与えたジャポニスム」(二〇〇二) 一部 一、六〇〇円
- 秋の企画展「白井烟嵩展 華山・椿山の画風を継いだ最後のひと」(二〇〇二) 一部 二、〇〇〇円
- 開館一〇周年記念特別展「出光美術館所蔵文人画名品展」(二〇〇三) 一部 一、五〇〇円
- 田原市合併記念特別展「芸能人の多才な

美術展「(二〇〇三)

- 一部 二、〇〇〇円
- 田原町博物館年報(平成六年度) 第九号 一部 八〇〇円
- (平成二二年度) 第七号 一部 八〇〇円
- (平成二二年度) 第八号 一部 八〇〇円
- (平成二二年度) 第九号 一部 八〇〇円
- 一掃百態(B5判) 複製和紙冊子(複製) 鈴木進解説付録付(平成七年第三版) 江戸時代の土農工商一般男女庶民に至る生活を描写 二、〇〇〇円
- 琢華堂門籍 複製和紙冊子(複製、解説付、箱ケース入) 華山の画弟子椿椿山の門人入門帳、三七三名が記載されています 八〇〇円
- 自律狂歌草稿 平成五年第二版、重要文化財 影印版 六〇〇円
- 華山 渡辺登(B6判) 華山の生涯を二冊に 平成六年第八版 小澤耕一著 一、〇〇〇円
- 少年物語 渡辺華山(A5判) 小学生向け華山の生涯 小澤耕一著 七〇〇円
- 渡辺氏家系と系譜 限定千部 平成四年 小澤耕一編 一、三〇〇円
- 華山年譜 平成十二年改訂第二版、小澤耕一編 一、三〇〇円

グッズ

- (たてcm よこcm)
- 一掃百態色紙 花売り図 (二四・〇×二七・五) 六〇〇円
- 一掃百態色紙 寺子屋図 () 六〇〇円
- 教科書でもおなじみ 一掃百態色紙 洗張り図 (二七・五×四・〇) 六〇〇円
- 女性の働く姿を描くものは珍しい 四季山水色紙(帙入り) (二五・〇×三四・〇) 六〇〇円
- 春・夏・秋・冬四枚セット 八 〇〇〇円
- 商人八訓(三九・五×五三・〇) 和紙製 八〇の訓戒 () 一〇〇円
- 「はっごつくんかい」と読みます 遺書 () 一〇〇円
- 渡辺華山自筆長男立宛 飢死るとも二君に () 一〇〇円
- 絵はがき 八枚セット(渡辺華山像・晴風万里図・十二支図巻・寺子屋図(一掃百態図のうち)・梅花小庵図(四季山水図画冊のうち)・月下芦雁之図・孔子像・湖石白猫図) 三〇〇円
- テレフォンカード 華山像

- 椿椿山筆の重要文化財 九〇〇円
- 孔子像
- 田原藩校成章館に掲げられたもの、重要文化財 九〇〇円
- 博物館外観 九〇〇円
- 三枚セット(カード台紙付) 二、七〇〇円
- キーホルダー 金・銀(六・五×三・〇) 忠孝(重要文化財、田原藩若君に与えた手本)の文字入 六〇〇円
- しおり(九・〇×三・五) 忠孝(金属製、重要文化財、若君に与えた手本)の文字入 六〇〇円
- カードミラー(九・〇×五・五) ステンレス製 裏に牡丹図がデザインされています 八〇〇円



財団法人華山会
から
田原市博物館
のご案内

特別展のご案内

十月四日～十月十三日

田原市合併記念特別展 芸能人の多才な美術展（企画展示室）

平常展のご案内

十月十七日～十二月七日



重文 椿椿山筆 小集図録

田原市博物館蔵名品選

前期十一月三日まで

後期十一月六日から

十二月十日～二月八日

渡辺華山と椿椿山・椿華谷

（特別展示室）

水の恵み～豊川用水と渥美半島

（企画展示室）

昭和43年撮影 豊川用水



二月十日～三月二十一日

渡辺華山・福田半香とその周辺

（特別展示室）

ふたつの鈴木コレクション

（企画展示室）

福田半香筆 高砂浦之図



観覧料

一般

特別展 四〇〇円(三二〇円)

平常展 二二〇円(一六〇円)

小中学生 一〇〇円(八〇円)

（ ）内は二十名以上の団体の料金
毎週月曜日は休館、ただし、祝日の場合は翌日

華山・史学研究会

会員募集中

申込場所 華山会館

毎月第四土曜日研究会

視察研修に参加できます。

華山会報第一二号

平成一五年一〇月一日発行

編集発行 財団法人華山会

理事長 白井孝市

事務局長 光浦貞佳

〒四四一―二四二

愛知県田原市田原町巴江二二一

TEL 五三二・二三二・一七

FAX 五三二・二三二・一七一

編集・協力

田原市博物館

華山・史学研究会

会長 渡辺亘祥

林 和彦 尾川新一

山田哲夫 別所興一

林 哲志 小川金一

柴田雅芳 加藤克己

中神昌秀 仲井千恵

華山会報ご希望の方は華山会館・

田原市博物館にお申し出ください。

次回発行予定 平成十六年四月